

平成 25 年 4 月 18 日

松山河川国道事務所工務第二課

愛媛大学新入生が橋梁工事を見学！

～未来の技術者が土木工事の魅力を感じ～

本見学会を通じ、土木工事の魅力や公共事業の担う役割について考える機会を提供し、未来を担う若手技術者の育成支援につなげたいと考えています。

国土交通省松山河川国道事務所と愛媛大学工学部は、現在工事を進めている松山外環状道路インター線の工事現場において、愛媛大学工学部環境建設工学科の1回生を対象とした現場見学会を開催します。

【概要】

場 所：松山河川国道事務所、松山外環状道路インター線工事現場（別紙1参照）

日 時：平成25年4月23日（火）及び5月14日（火）
13:30～15:20（予定）

行 程：別紙2参照

対 象 者：愛媛大学1回生 約100人（2日間で各50人ずつ）

見学内容：橋梁の架設状況等

【ポイント】

工事中でなければ見る事の出来ない下記の状況が確認出来ます。

- ① 舗装前の橋の上面（地上16m＝5階建てビル相当）
- ② 架設設備
- ③ 橋梁下部工のコンクリート打設

※ 詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1人と文化を育む産学官連携プロジェクト」、 「NO.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組みに関連します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

◎ 工事品質管理官：秋山 慎吾（アキヤマ シンゴ）（内線：302）

工務第二課長：神前 巖（カンザキ イワ）（内線：411）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0614

愛媛大学 環境建設工学科

教授：岡村 未対（オカムラ ミツ）

直通 089-927-9820

◎：主な問い合わせ先

【記者の皆様へ】

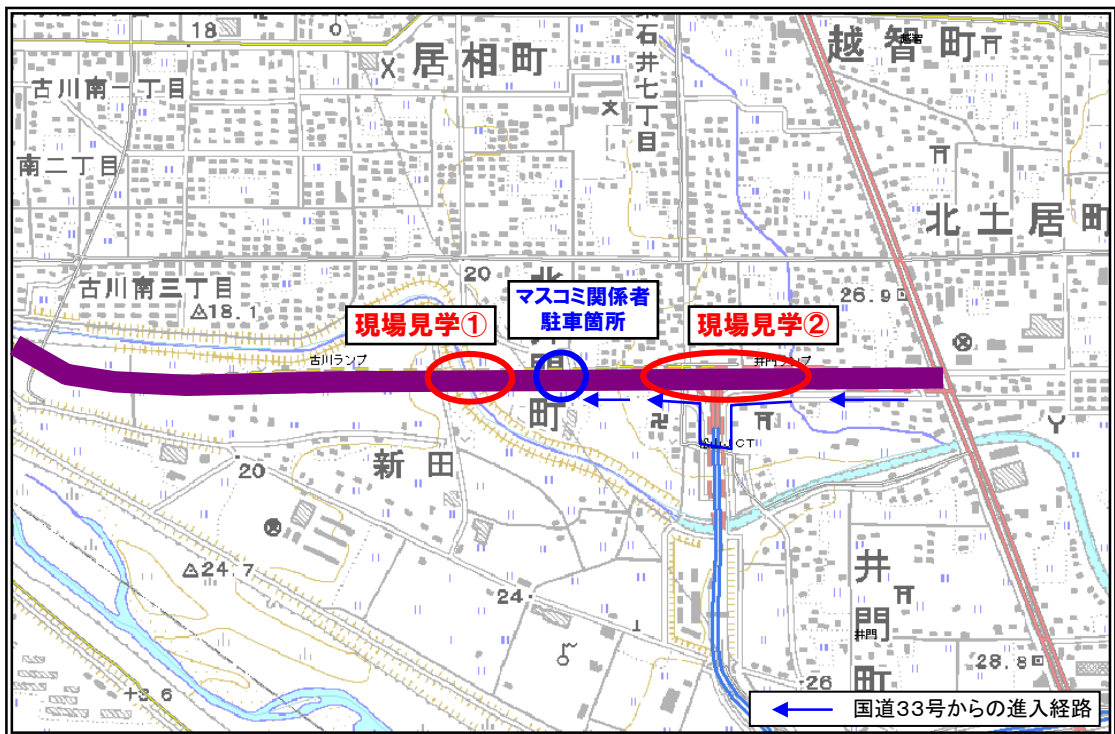
当日の取材は可能です。但し、天候によっては行程が変更となる場合があります。
また、大雨等により松山河川国道事務所が防災体制に入る場合は中止します。

【位置図】



この地図は一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

上図、口囲み部分拡大図



この地図は一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

【行程】

平成25年4月23日(火)、5月14日(火)

タイムスケジュール	主な行程
13:30 ~ 14:00	松山河川国道事務所(2階 会議室)にて概要説明
14:10 ~	松山河川国道事務所 発
14:30 ~ 14:50	現場見学① (松山IC付近)
15:00 ~ 15:20	現場見学② (松山IC付近)
～ その後、引き続き西日本高速道路(株)の工事現場を見学 ～	

※当日の天候等の状況により、行程が変更となる場合があります。
 ※今後、河川事業や港湾事業の見学会も実施予定です。
 ※学生の移動手段は、バスを予定しています。

【4月12日現在の状況写真】



【昨年の状況写真】



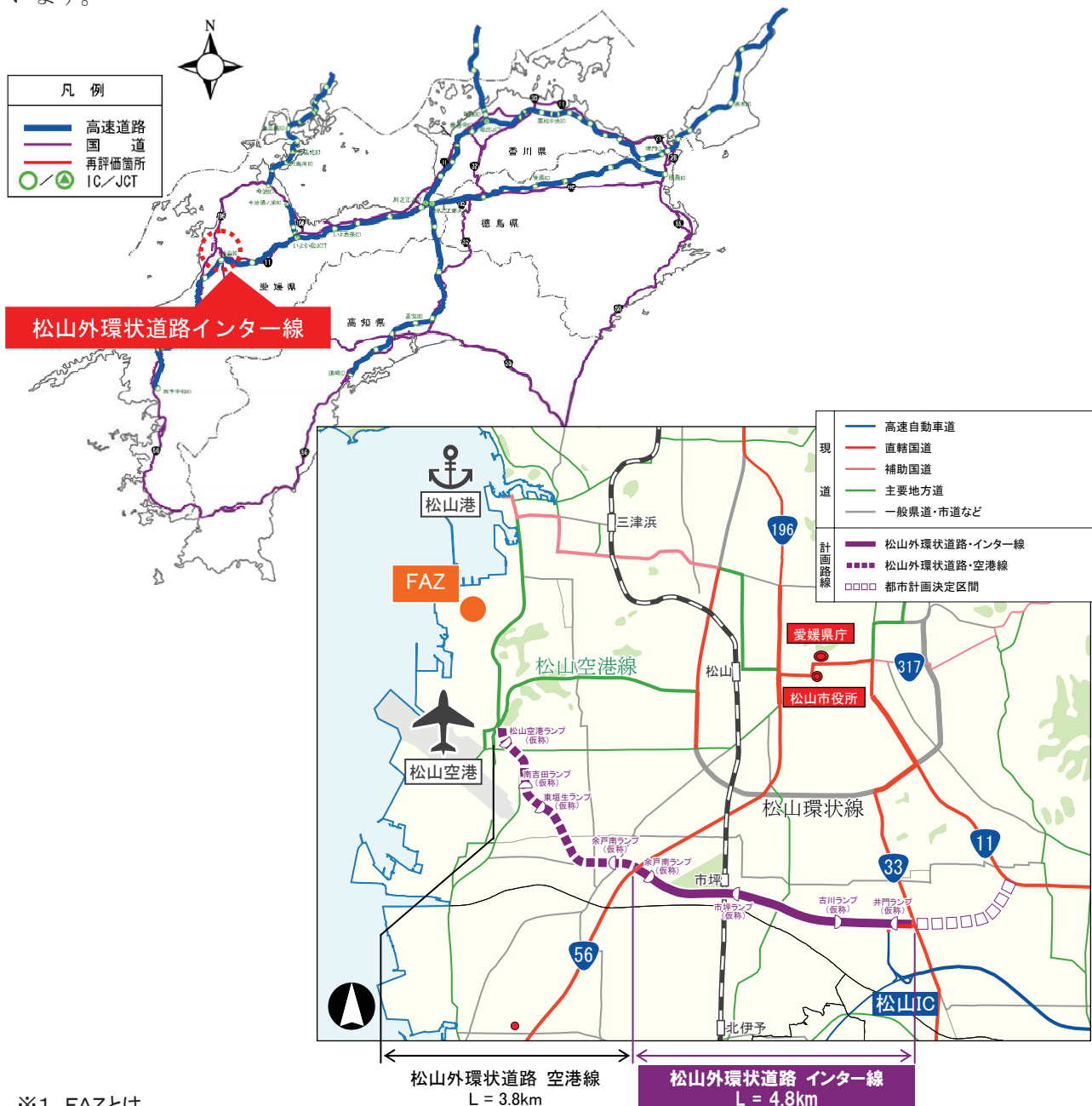
松山外環状道路インター線の概要

事業の目的

松山外環状道路とは、現在の松山環状線のさらに外側に計画された環状道路のことで、松山 IC、松山空港、松山港、FAZ 等の広域交通拠点や地域開発拠点とのアクセス性向上、市内中心部へ流入する交通を分散し、市内の交通渋滞解消を目的とした地域高規格道路^{※2}です。

松山外環状道路のうち、国道 33 号から国道 56 号間 (4.8km) は、一般国道 33 号松山外環状道路インター線、一般県道久米垣生線、市道松山外環状線、街路来住余戸線 (県・市) の 5 つの事業で構成されており、国土交通省、愛媛県、松山市が協同で整備を推進しています。

松山外環状道路が供用されると、郊外からは市街地を通過せずに目的地への移動が可能になるため、市街地に用事のない通過交通の市内流入を減らし、市内の渋滞の解消・緩和が期待されています。



※1 FAZとは...
 フォーリング・アクセス・ゾーンの略称で、世界からの輸入の円滑化のため港湾・空港・その他周辺地域において設定された輸入促進地域の意味です。

※2 地域高規格道路とは...
 空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点を連結すると共に、都市と周辺地域との連携強化による地域集積圏の拡大、地域集積圏間の交流促進を目的とした道路です。